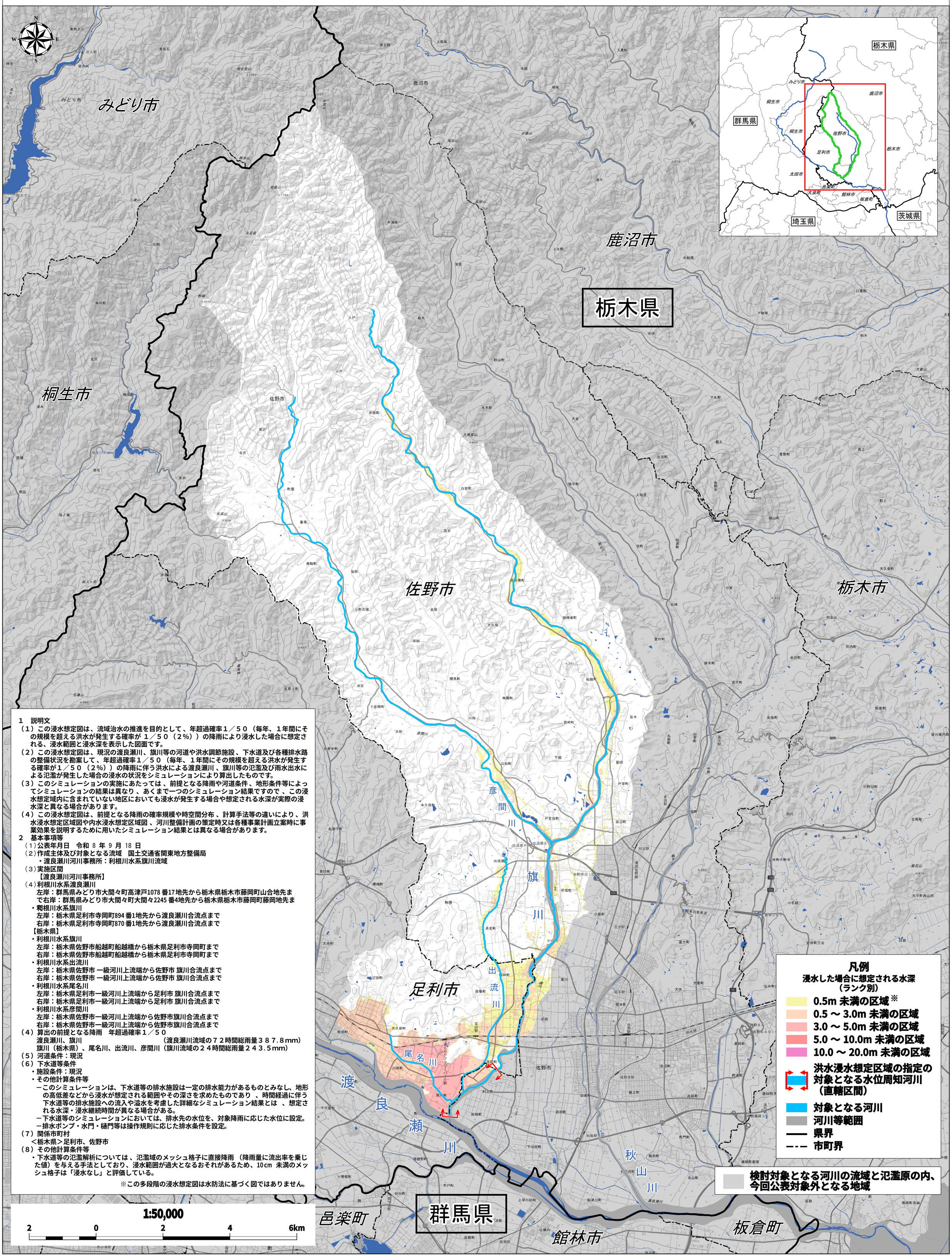
利根川水系 旗川流域　内外水統合の浸水想定図【現況河道】
（1／50規模降雨）



1　説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が １／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の渡良瀬川、旗川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水による渡良瀬川、旗川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（4）この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）公表年月日　令和 8 年 9 月 18 日

（2）作成主体及び対象となる流域　国土交通省関東地方整備局
・渡良瀬川河川事務所：利根川水系旗川流域

（3）実施区間
【渡良瀬川河川事務所】

（4）利根川水系渡良瀬川
左岸：群馬県みどり市大間々町高津戸1078 番17地先から栃木県栃木市藤岡町山合地先まで右岸：群馬県みどり市大間々町大間々2245 番4地先から栃木県栃木市藤岡町藤岡地先まで
・利根川水系旗川
左岸：栃木県足利市寺岡町894 番1地先から渡良瀬川合流点まで
右岸：栃木県足利市寺岡町870 番1地先から渡良瀬川合流点まで
【栃木県】
・利根川水系旗川
左岸：栃木県佐野市船越町船越橋から栃木県足利市寺岡町まで
右岸：栃木県佐野市船越町船越橋から栃木県足利市寺岡町まで
・利根川水系出流川
左岸：栃木県佐野市 一級河川上流端から佐野市 旗川合流点まで
右岸：栃木県佐野市 一級河川上流端から佐野市 旗川合流点まで
・利根川水系尾名川
左岸：栃木県足利市一級河川上流端から足利市 旗川合流点まで
右岸：栃木県足利市一級河川上流端から足利市 旗川合流点まで
・利根川水系彦間川
左岸：栃木県佐野市一級河川上流端から佐野市旗川合流点まで
右岸：栃木県佐野市一級河川上流端から佐野市旗川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０
渡良瀬川、旗川　（渡良瀬川流域の７２時間総雨量３８７.８mm）
旗川（栃木県）、尾名川、出流川、彦間川（旗川流域の２４時間総雨量２４３.５mm）

（5）河道条件：現況

（6）下水道等条件
・施設条件：現況
・その他計算条件等
－このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
－下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
－排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

（7）関係市町村
＜栃木県＞足利市、佐野市

（8）その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm 未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

※内水氾濫に関しては10cm未満の浸水深は表示していません。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 8JHs 184」